

イモから
生まれた!

イモイモマルチ®



登録番号 1128

イモイモマルチの特長

① 作物に合わせた生分解性能

- 短期分解性能で主にイモ類などに最適
- 生分解マルチ特有の縦裂けが少ない。
- 収穫機への絡みが少なく作業性が向上し剥ぎ取り作業も省力化。



② 伸縮性よく畝にピッタリ展張可能

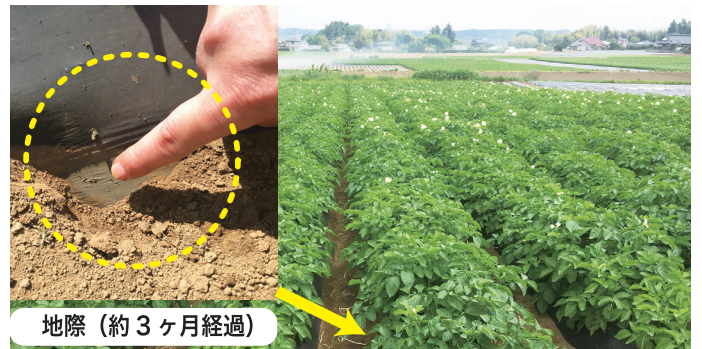
- 適度な伸縮性能があり、畝の形状に合わせた展張が可能。
- 密着性に優れ、風によるバタつきが非常に少ない。



マルチに伸縮性能がある為、畝の形状に沿って張りやすく、定植孔もきれいに開けられます。センターに印刷も入っているので植付けの目印として使用できます。

③ 環境負担への軽減

- 植物由来原料なので、土壌環境負荷が少ないので環境に良い生分解です。



地際（約3ヶ月経過）



3ヶ月経過も地際切れがなく状態は良好でした！
定植～約2ヶ月半経過で作も良好！

生分解 イモイモマルチ 規格

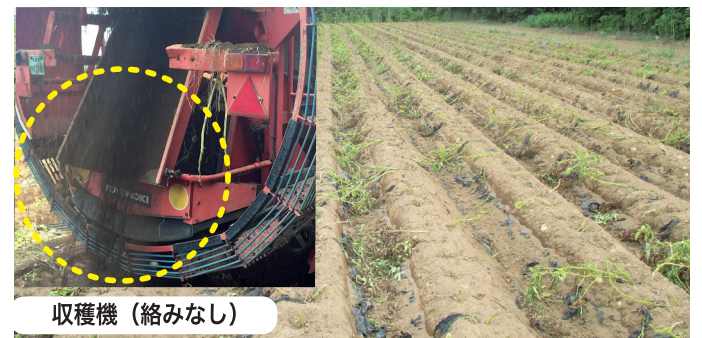
イモイモマルチ 黒シート (主要規格)

幅 × 長さ	梱包単位
95 × 400m	2本

※200m～600m巻きも可能です。

(注意事項)

- 1、基本受注生産になります。
- 2、ホーリー（有孔品）などの加工については事前にご相談下さい。



収穫機（絡みなし）

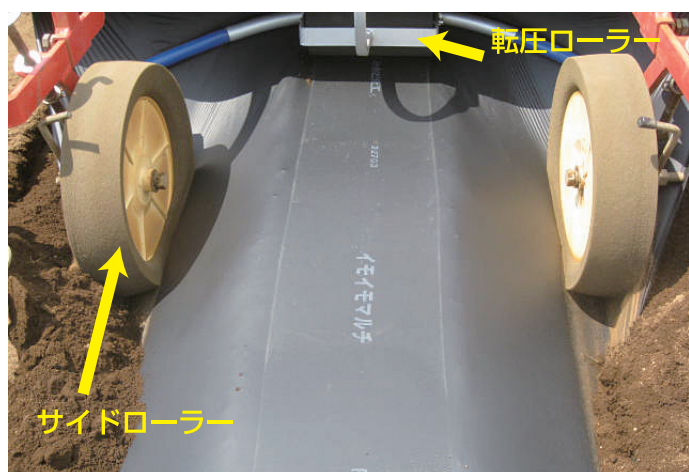


じゃがいもの地上部をカットした後の状態です。マルチの崩壊が進んでいて、収穫機にフィルムが絡まりにくいのが特長です。

生分解マルチ マルチャー（畝立成型機）での正しい展張の仕方

- ①中央部の転圧ローラーとサイドローラーの調整を必ず行って下さい。
- ②フィルムにシワが寄らないように展張してください。
- ③伸縮性があるので過度に引っ張らなくても綺麗に展張できます。
- ④強く引っ張り過ぎると裂ける原因となります。
- ⑤マルチャー機による展張はゆっくりと行って下さい。

○ 正しい展張の仕方



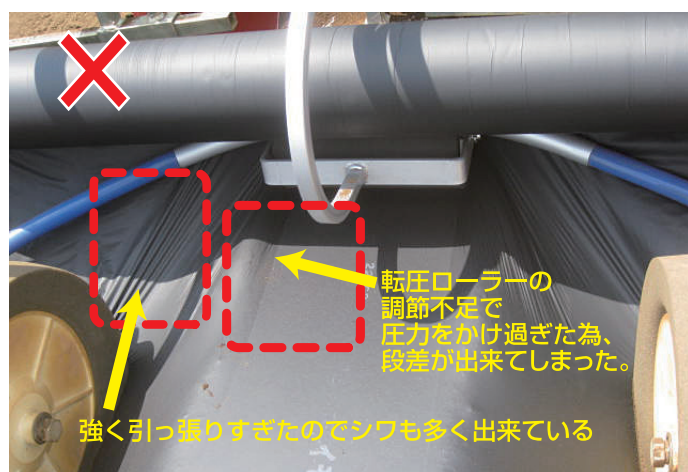
展張時、引きシワもなく転圧ローラーによる跡も小さく綺麗に展張。

2週間経過



正しく展張したことで、畝に沿って綺麗に張れている。
※伸縮性があるので過度に引っ張らなくても畝にフィットします。

× 正しくない展張の仕方



転圧ローラーで圧力を掛けすぎているので畝上部と畝横で段差が付いてしまった。転圧ローラー痕ははっきりと残っている状態。

2週間経過



過度に転圧ローラーの圧力を掛けたことや展張の際にフィルムを強く引っ張りすぎたことで裂けてしまった。

生分解マルチフィルムの使用上のご注意

1. 本製品は高温・多湿・直射日光を避けて保管して下さい。
2. 本製品は使用中、土壌の微生物によって二酸化炭素と水に分解します。
3. 生分解マルチフィルムは微生物の活動・地温・水分・天候などにより分解速度が異なる場合がございます。
4. 生分解マルチフィルムはポリマルチに比べ、透湿性が高いので土壌が乾きやすくなります。
5. フィルム展張後はフィルムに十分に土をかけて頂き、風に飛ばされないようにして下さい。
6. 生分解マルチフィルムをマルチャー機械で展張する際の速度はゆっくり丁寧に張って下さい。
※地際部分より分解した場合、風が入り込みフィルムが飛ばされる危険がありますのでその場合は土のせをお願い致します。